

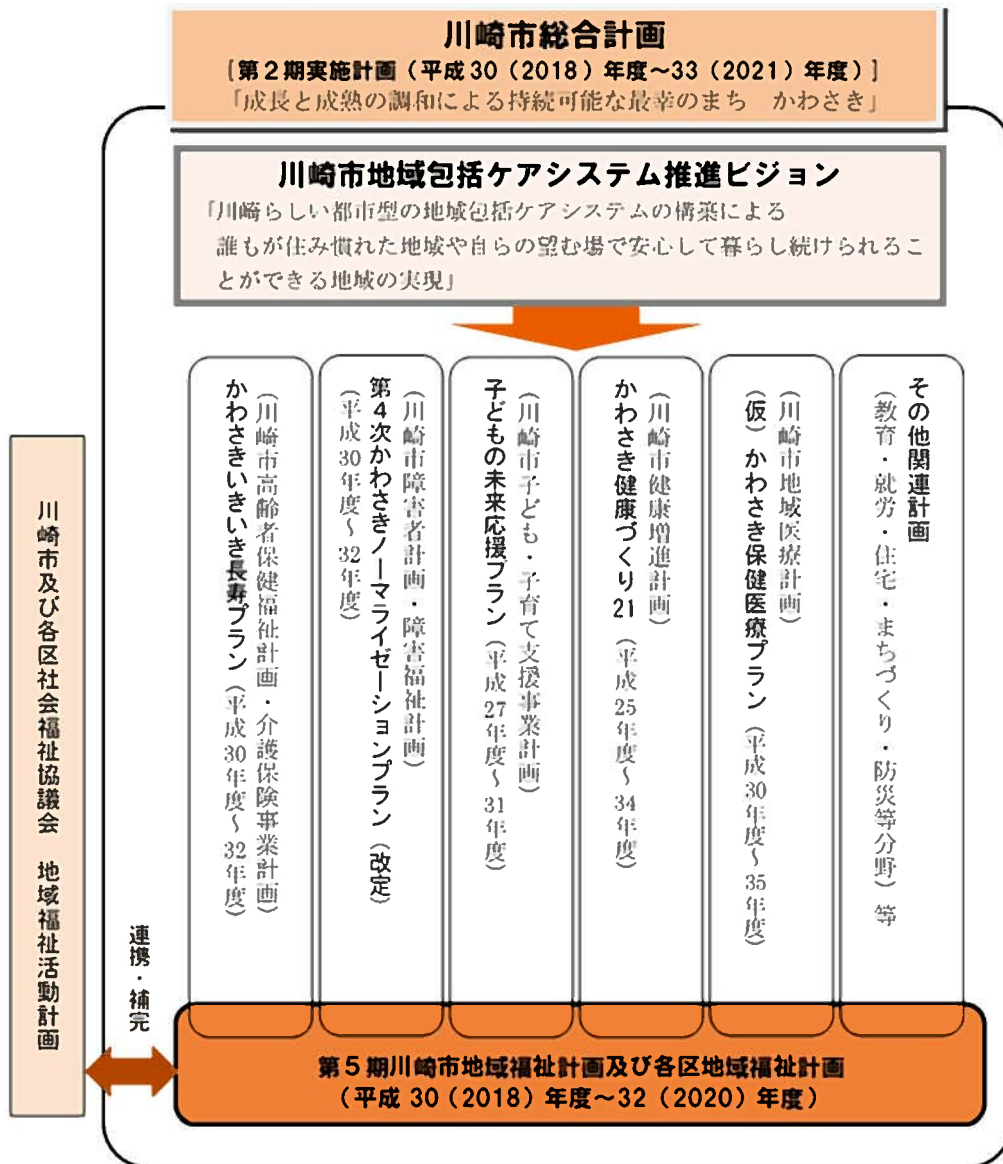
第 5 期多摩区地域福祉計画の素案について

序章 川崎市地域福祉計画について

序章の前半は、川崎市地域福祉計画の趣旨や期間、平成 27 年 3 月に策定された上位概念の「川崎市地域包括ケアシステム推進ビジョン」との関係性、社会福祉協議会が策定する「地域福祉活動計画」との連携、これまでの計画の進捗状況と課題などで構成されています。

後半では、厚生労働省が推し進めている、地域のあらゆる住民が役割を持ち、支え合い、公的なサービスと協働して助け合いながら暮らすことのできる「我が事・丸ごと」地域共生社会と本市の取組の関係性や、2025 年に向けて課題とめざす姿を目標に、第 5 期計画の方向性を定めた基本理念や目標、施策体系についての説明で構成されています。

図 1 【第 5 期川崎市地域福祉計画の位置付け】



第 5 期 川 崎 市 地 域 福 祉 計 画 の 施 策 体 系 図

図 2

基本理念 市民一人ひとりが共に支え合い安心して暮らせる ふるさとづくり
～川崎らしい都市型の地域包括ケアシステム構築をめざして～

施策の展開に向けた4つの基本目標

1 住民が主役の地域づくり

- (1) 誰もが参加できる健康・いきがいづくり
 - ①健康づくり事業
 - ②介護予防事業
 - ③生涯現役対策事業
 - ④生活習慣病予防対策事業
 - ⑤食育推進事業
- (2) 地域福祉活動への参加の促進
 - ①民生委員児童委員活動育成等事業
 - ②老人クラブ育成事業
 - ③高齢者就労支援事業
 - ④青少年活動推進事業
 - ⑤地域における教育活動の推進事業
- (3) ボランティア・NPO活動の支援
 - ①市民活動支援事業（かわさき市民活動センターの運営支援を含む）
 - ②川崎市社会福祉協議会ボランティア活動振興センターの運営支援
 - ③NPO法人活動促進事業
 - ④地域に開かれた特色ある学校づくり推進事業
 - ⑤地域福祉コーディネート技術研修
- (4) 活動・交流の場づくり
 - ①地域福祉施設の運営（総合福祉センター、福祉バル）
 - ②いこいの家・いきいきセンターの運営
 - ③こども文化センター運営事業
 - ④わくわくプラザ事業
 - ⑤地域の寺子屋事業

2 住民本位の福祉サービスの提供

- (1) 福祉に関する情報提供の充実
 - ①住情報提供推進事業
 - ②地域における子育て支援の推進
 - ③老人福祉普及事業
 - ④福祉サービス第三者評価推進事業
 - ⑤地域福祉情報バンク
- (2) 包括的な相談支援ネットワークの充実
 - ①地域包括支援センターの運営
 - ②障害者相談支援事業
 - ③児童生徒指導・相談事業
 - ④母子保健指導・相談事業
- (3) 保健・福祉人材の育成
 - ①福祉人材確保対策事業
 - ・福祉人材バンク事業
 - ・福祉人材確保支援事業
 - ・福祉人材就労支援事業
 - ②人材開発研修センターの運営 他
- (4) 権利擁護の取組
 - ①権利擁護事業
 - ・あんしんセンター運営の運営支援
 - ・成年後見制度推進事業
 - ②人権オンブズパーソン運営事業

3 支援を必要とする人が的確に支援につながる仕組みづくり

- (1) 災害時の避難支援体制づくりの推進
 - ①災害救助その他援護事業
 - ・災害時要援護者対策事業
 - ・大規模災害被災者等支援事業
 - ・被災者等支援事業
- (2) 一人暮らし高齢者等の見守りネットワークの推進
 - ①地域みまもりネットワーク事業
 - ②ひとり暮らし支援サービス事業
 - ③高齢者生活支援サービス事業
- (3) 虐待への適切な対応の推進
 - ①高齢者虐待防止対策事業
 - ②障害者虐待防止対策事業
 - ③児童虐待防止対策事業
 - ④女性保護事業
- (4) 生活困窮者の自立支援
 - ①生活保護自立支援対策事業
 - ②生活困窮者自立支援事業
 - ③ひとり親家庭の生活支援事業
 - ④子ども・若者支援推進事業
 - ⑤コネクションかわさき（かわさき若者サポートステーション）の運営
 - ⑥福祉資金貸付事業
- (5) 引きこもり対策の推進
 - ①社会的ひきこもり対策事業

4 連携のとれた施策・活動の推進

- (1) 保健・医療・福祉の連携
 - ①在宅医療連携推進事業
 - ②がん検診等事業
 - ③妊婦・乳幼児健康診査事業
- (2) 市民・事業者・行政の連携・協働
 - ①地域包括ケアシステム推進事業
 - ②認知症高齢者対策事業
 - ③社会福祉審議会の運営
 - ④地域福祉計画推進事業
 - ⑤多様な主体による協働・連携推進事業
- (3) 社会福祉協議会との連携・協働
 - ①社会福祉協議会の育成

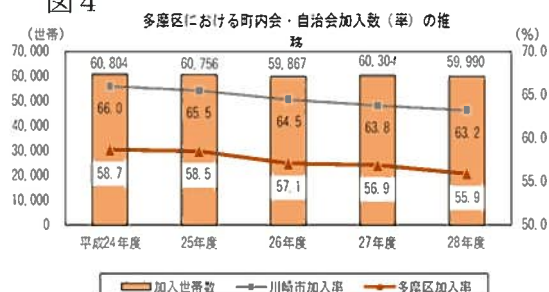
第1章 多摩区地域福祉計画策定にあたって

「1 多摩区の地域の特色」では、人口統計や福祉に関する統計、町内会・自治会加入率、生活環境の満足度などで構成されています。

図3



図4



「2 区民の主な生活課題」では、「近所づきあい」や「孤独死」に関する意識調査の結果に加え、第5期の計画から多摩区独自で実施した調査から「世代間の意識の違い」や「子育て環境」についての結果を基に、生活課題として記載をしています。

「平成28年度 川崎市地域福祉実態調査」

- ・地域住民同士の交流の必要性について
 - 「必要」、「しておいた方がいい」を合わせて54.1%となっている
- ・孤独死を防ぐために有効なことについて
 - 「地域住民による、声かけ、見守り」、「民間の協力による情報共有」、「民生委員児童委員による訪問、見守り」が上位となっている

「平成28年度 多摩区区民意識アンケート」

- ・区役所が力を入れて取り組むべき施策について
 - 70代以上は「高齢者のための施策」、20～40代は「子ども・子育てのための施策」と世代間によるギャップがある

「平成29年度 多摩区子ども・子育て実態調査」

- ・子育てについて心配なこと、不安なことがあるかどうかについて
 - 平成24年の77.9%から平成29年71.3%に減少しているが、依然高い状況となっている
- ・日常の子育てを楽しく、安心して行うためにはどのようなことが必要かについて
 - 「子どもの遊び場の充実」が67.1%と最も高くなっている

「3 多摩区地域福祉施設マップ」では区内の主要な福祉施設情報が記載されています。

「4 地区の概況」では地区社協単位で分割した地区ごとの統計や地域情報で構成されています。

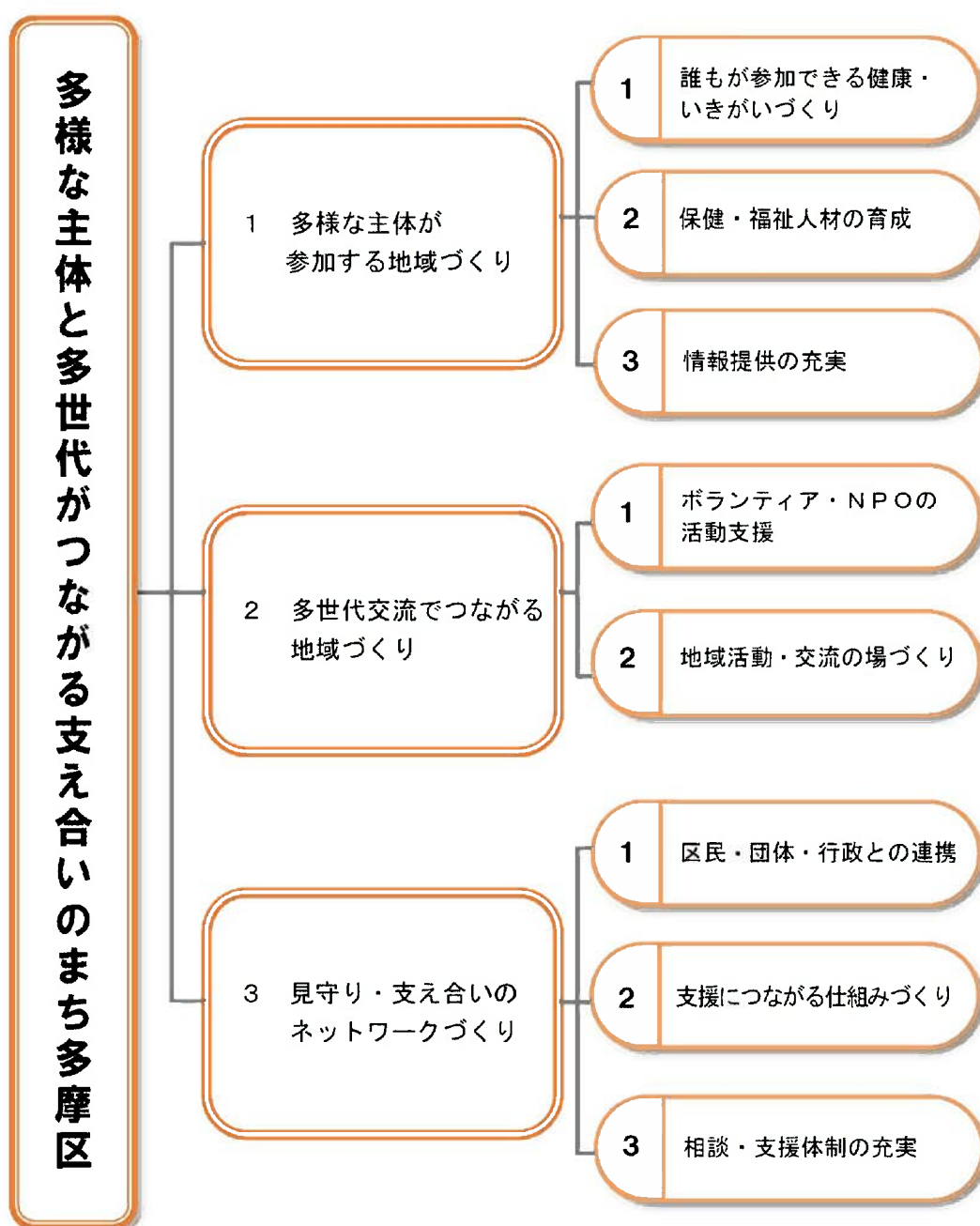
「5 第4期計画の振り返り」では、主要な取組とした10事業についての4年間の振り返りを記載しています。

第2章 多摩区地域福祉計画の取組

第2章では、第1章の「区民の生活課題」や「第4期計画の振り返り」を基にした、第5期の計画の基本理念や基本目標、基本方針を定め、それに付随する区役所の各事業の説明や、区の地域福祉に特色のある事項などを記載したコラムで構成しています。

第5期からは新たに「6 社会福祉協議会・地域福祉活動計画について」として、計画策定等で連携をしている社会福祉協議会の事業や地域福祉活動計画についての説明を追加しました。

図5 第5期多摩区地域福祉計画の体系図



第5期多摩区地域福祉計画コラム一覧

コラム一覧

コラム①「ご近所の輪が広がる健康づくり」	P 7 9
コラム②「認知症サポーター」	P 8 1
コラム③「子育て支援者養成」	P 8 1
※多摩区で発行している冊子・リーフレット	P 8 3
※多摩区町会連合会、多摩区の福祉相談機関	P 8 6, 8 7
コラム④「チーム・たま」	P 9 3
コラム⑤「民生委員児童委員」	P 9 5
コラム⑥「多摩区こども相談窓口」	P 9 6

参考

第4期多摩区地域福祉計画コラム一覧

コラム①「川崎市地域見守りネットワーク事業」	
コラム②「地域福祉ネットワークづくり事業」	
※基本目標1に関連する各種団体が行っている事例	
コラム③「親と子の集い場づくり事業」	
コラム④「多摩区健康フェスタ」	
コラム⑤「多摩区みんなの公園体操」「多摩区いきいき体操」 「多摩区健康ウォーク体験教室」	
※基本目標2に関連する各種団体が行っている事例	
コラム⑥「運動普及推進員養成教室」「食生活改善推進員養成教室」	
コラム⑦「介護予防・健康づくりボランティア養成教室」	
※基本目標3に関連する各種団体が行っている事例	